

گانこ「平野郷屋敷」(旧辻元家住宅)

大阪府大阪市

گانこ「ひらのごやしき」(きゅうつじもとけじゅうたく)



外観

旧辻元家住宅は平野郷鞍作(現・大阪市平野区加美鞍作)の豪農辻元家の本宅として江戸時代初期に建設された近世和風建築である。通称は平野郷屋敷。約1100坪の敷地に、主屋をはじめ長屋門、蔵5棟、茶室が建っており、床面積合計は約804坪。

1990年からレストラン「گانこ平野郷屋敷」の施設となりまた1993年からは「平野町ぐるみ博物館」を構成する施設となっており、屋敷内に「くらしの博物館」が設けられた。(ウィキペディアより)



くらしの博物館

見どころ

約1100坪の敷地に、主屋をはじめ長屋門、蔵5棟、茶室が建っており、敷地の多くを占める日本庭園は、大阪万博の日本庭園を手がけた木戸雅光による作庭である。大阪市南部の平野区は、堺などと同じく自治都市であり、豊臣氏の正妻おねの領地であったため、大阪の陣の後も自治権を維持することができた。大阪が東洋のマンチェスターと呼ばれる所以の綿産業の中心地であり、豪農豪商の家が多く、戦禍にあっていないため、古い寺社、民家が今も残っている。辻元家はその一画にあり、江戸時代より庄屋・村長などの要職に就き、苗字・帯刀をを許された豪農である。平野郷屋敷は、400年前の江戸時代初期に建てられ、現在は寿司、和食のチェーン店が購入し「گانこ平野郷屋敷」店として営業している。過去に重要文化財の指定の話があったらしいが、古い母屋に接続の増築が多く、復元が難しいので断ったとのこと。辻元家が所有していた絵画、茶器など文化財が店内と衣裳蔵だった「くらしの博物館」に展示されている。大阪府建築士会が毎年実施しているヘリテージマネージャー養成講座の見学先としても採用されている。大阪市立工芸高校が広報動画を製作している。<https://www.youtube.com/watch?v=V0oIJNVI3UI>



母屋全景。



玄関ホール



庭を見渡せる客室



長屋門
奥に母屋玄関が見える。玄関は明治に入って増築された



庭には70種類の植物が植えられている。雑木林をイメージして造られたようだ。



くらしの博物館内部
「伊万里赤絵」や「楽焼」の茶碗の他、室町時代の画僧、吉山明兆の作とされる「飛鯉之図」や、江戸時代中期の絵師である伊藤若冲による「水鳥」の掛け軸など、非常に文化的価値のある作品を観ることができる。

建物名称	گانこ・平野郷屋敷(旧辻元家住宅)
建築年	江戸時代初期
構造・様式	木造・近世和風建築
所在地	大阪府大阪市平野区加美鞍作1-3-19
電話	06-6796-0728
H P	https://www.gankofood.co.jp/shop/detail/ya-hiranogou
開館時間	平日11:00~15:00 17:00~22:00 土、日、祝 11:00~22:00
アクセス備考	JR関西本線 加美駅 徒歩3分